

国土数值情報（学校）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2013 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) ver.2.1 準拠 ・平成 2 年度、平成 18 年度年度作成データに対応
第 1.1 版	2014 年 3 月	整備作業に伴い、一部見直しを実施

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	5
4.1.2 施設パッケージ.....	6
4.1.3 学校パッケージ.....	7
4.1.4 共通パッケージ.....	12
4.2 空間スキーマプロファイル.....	12
4.3 時間スキーマプロファイル.....	12
5 参照系.....	12
5.1 座標参照系.....	12
5.2 時間参照系.....	12
6 データ品質.....	13
7 データ製品配布.....	16
7.1 配布書式情報.....	16
7.2 配布媒体情報.....	16
8 メタデータ.....	17
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（学校）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2014 年 3 月 14 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：構造物
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の学校の位置及び種別、名称、住所、管理者等のデータを整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
2014 年 3 月 3 日時点

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（学校）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（学校）データ

■ 日付

2014年3月3日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

■ 概要

本データは国土数値情報（公共施設）（平成18年度）を原典資料とし、これから学校を抽出したものである。なお、データ作成にあたり、インターネットを通じた調査を行った。

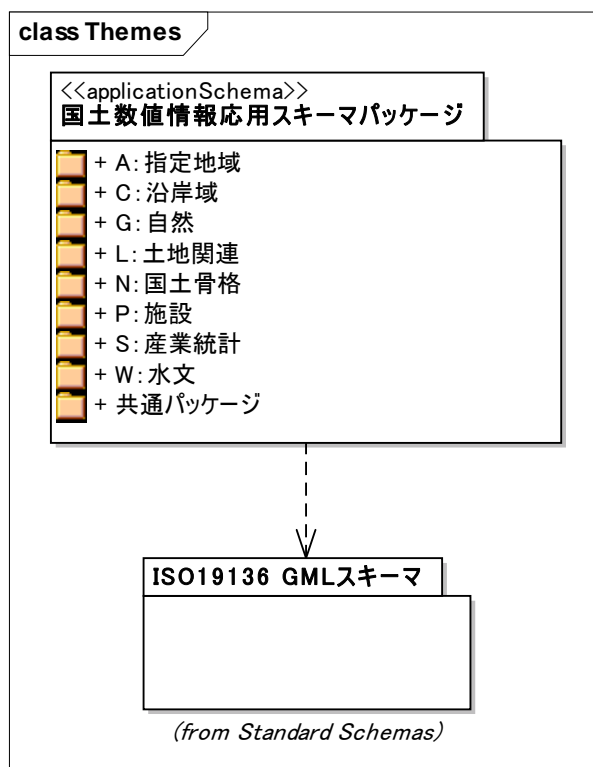
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

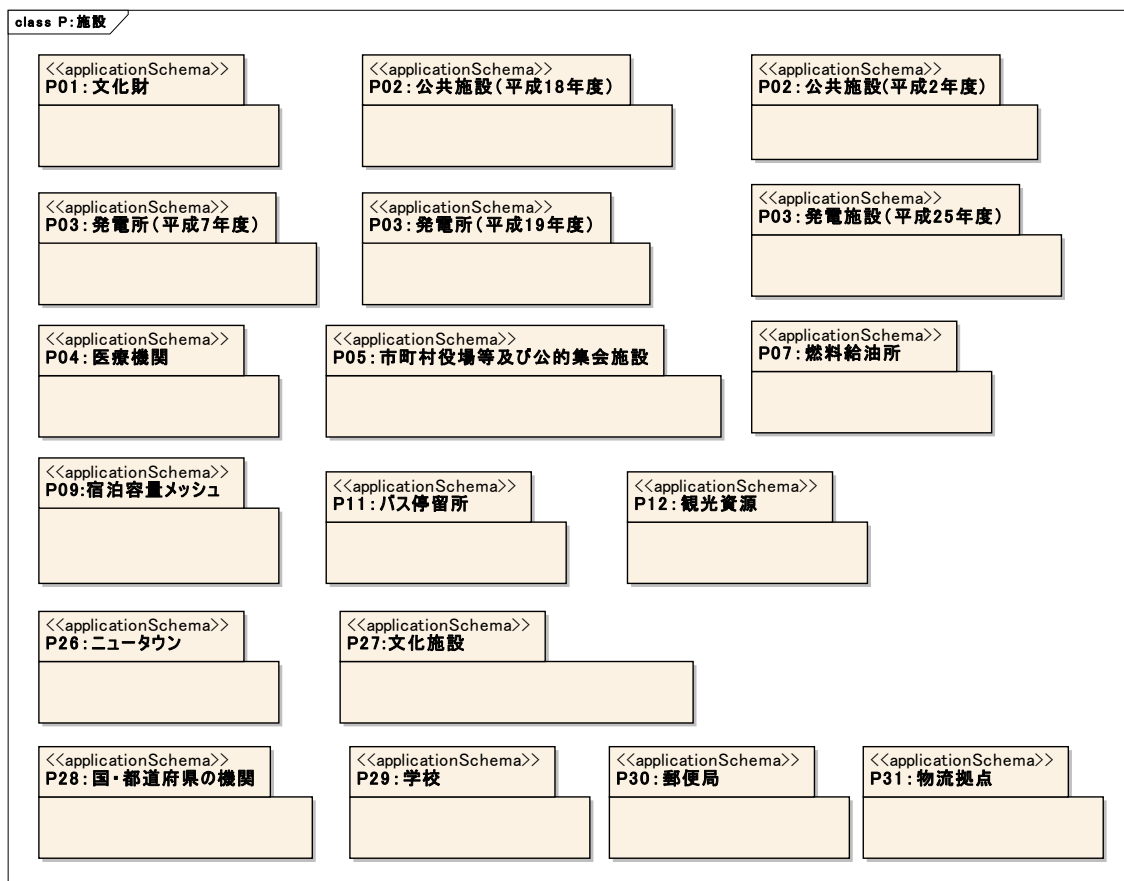
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 施設パッケージ

このパッケージは、施設に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 学校パッケージ

このパッケージは、学校に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図

<<featureType>> 学校
+ 位置 :GM_Point
+ 行政区域コード :行政コード
+ 公共施設大分類 :公共施設大分類コード [0..1]
+ 公共施設小分類 :公共施設小分類コード [0..1]
+ 学校分類 :学校分類コード
+ 名称 :CharacterString
+ 所在地 :CharacterString [0..1]
+ 管理者コード :管理者コード

<<codeList>> 学校分類コード
+ 小学校 = 16001
+ 中学校 = 16002
+ 中等教育学校 = 16003
+ 高等学校 = 16004
+ 高等専門学校 = 16005
+ 短期大学 = 16006
+ 大学 = 16007
+ 特別支援学校 = 16012

<<codeList>> 共通パッケージ::行政コード

<<codeList>> 共通パッケージ::管理者コード
+ 国 = 1
+ 都道府県 = 2
+ 市区町村 = 3
+ 民間 = 4
+ その他 = 0

<<codeList>> 共通パッケージ::公共施設大分類コード
+ 建物 = 3
+ その他 = 9
+ 国の機関 = 11
+ 地方公共団体 = 12
+ 厚生機関 = 13
+ 警察機関 = 14
+ 消防署 = 15
+ 学校 = 16
+ 病院 = 17
+ 郵便局 = 18
+ 福祉施設 = 19

<<codeList>> 共通パッケージ::公共施設小分類コード
+ 美術館 = 03001
+ 資料館, 記念館, 博物館, 科学館 = 03002
+ 図書館 = 03003
+ 水族館 = 03004
+ 動植物園 = 03005
+ 公共企業体・政府関係機関 = 09001
+ 独立行政法人・大学共同利用法人 = 09002
+ 国会 = 11100
+ 会計検査院 = 11101
+ 人事院 = 11102
+ 内閣法制局 = 11103
+ 内閣府 = 11110
+ 内閣官房 = 11111
+ 宮内庁 = 11112
+ 金融庁 = 11113
+ 公正取引委員会 = 11114
+ 国家公安委員会 = 11120
+ 警察庁 = 11121
+ 防衛庁 = 11130
+ 防衛施設庁 = 11131
+ 総務省 = 11140
+ 消防庁 = 11142
+ 公害等調整委員会 = 11144
+ 法務省 = 11150
+ 検察庁 = 11151
+ 公安調査庁 = 11152
+ 公安審査委員会 = 11153
+ 外務省 = 11160
+ 外国公館 = 11161
+ 財務省 = 11170
+ 国税庁 = 11171
+ 文部科学省 = 11180
+ 文化庁 = 11181
+ 厚生労働省 = 11190
+ 社会保険庁 = 11191
+ 中央労働委員会 = 11192
+ 農林水産省 = 11200
+ 林野庁 = 11202
+ 水産庁 = 11203
+ 経済産業省 = 11210
+ 資源エネルギー庁 = 11211
+ 特許庁 = 11212
+ 中小企業庁 = 11213
+ 国土交通省 = 11220
+ 海上保安庁 = 11221
+ 海難審判庁 = 11222
+ 気象庁 = 11223
+ 船員労働委員会 = 11224
+ 環境省 = 11230
+ 裁判所 = 11240
+ 都道府県庁 = 12001
+ 区役所(東京都), 市役所 = 12002
+ 区役所(政令指定都市) = 12003
+ 町村役場 = 12004
+ 都道府県の出先機関 = 12005
+ 保健所 = 13001
+ 小学校 = 16001
+ 中学校 = 16002
+ 中等教育学校 = 16003
+ 高等学校 = 16004
+ 高等専門学校 = 16005
+ 短期大学 = 16006
+ 大学 = 16007
+ 盲学校 = 16008
+ ろう学校 = 16009
+ 養護学校 = 16010
+ 普通郵便局 = 18001
+ 特定郵便局(集配局) = 18002
+ 特定郵便局(無集配局) = 18003
+ 簡易郵便局 = 18004
+ 地域区分局 = 18005

4.1.3.2 応用スキーマ文書

学校

学校教育法に基づく全国の小学校，中学校，中等教育学校，高等学校，高等専門学校，短期大学，大学及び特別支援学校。

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

位置：GM_Point

学校の位置。

行政区域コード：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる，学校が存在する行政区を特定するためのコード。 JIS 規格（JIS X 0401， JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS 規格が定める 5 桁のコード値。

公共施設大分類[0..1]：公共施設大分類コード

公共施設の用途による大分類。

■ 定義域

「公共施設大分類コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
3	建物
9	その他
11	国の機関
12	地方公共団体
13	厚生機関
14	警察機関
15	消防署
16	学校
17	病院

コード	対応する内容
18	郵便局
19	福祉施設

公共施設小分類[0..1]：公共施設小分類コード

公共施設の用途による小分類。

■ 定義域

平成 18 年度 国土数値情報（公共施設）の「公共施設小分類コード」。国土数値情報（公共施設）に収録されていない場合には、「99999」を記入する。

コード	対応する内容	コード	対応する内容
03001	美術館	11200	農林水産省
03002	資料館，記念館，博物館，科学館	11202	林野庁
03003	図書館	11203	水産庁
03004	水族館	11210	経済産業省
03005	動植物園	11211	資源エネルギー庁
09001	公共企業体・政府関係機関	11212	特許庁
09002	独立行政法人・大学共同利用機関法人	11213	中小企業庁
11100	国会	11220	国土交通省
11101	会計検査院	11221	海上保安庁
11102	人事院	11222	海難審判庁
11103	内閣法制局	11223	気象庁
11110	内閣府	11224	船員労働委員会
11111	内閣官房	11230	環境省
11112	宮内庁	11240	裁判所
11113	金融庁	12001	都道府県庁
11114	公正取引委員会	12002	区役所（東京都），市役所
11120	国家公安委員会	12003	区役所（政令指定都市）
11121	警察庁	12004	町村役場
11130	防衛庁	12005	都道府県の出先機関
11131	防衛施設庁	13001	保健所
11140	総務省	16001	小学校
11142	消防庁	16002	中学校
11144	公害等調整委員会	16003	中等教育学校
11150	法務省	16004	高等学校

コード	対応する内容	コード	対応する内容
11151	検察庁	16005	高等専門学校
11152	公安調査庁	16006	短期大学
11153	公安審査委員会	16007	大学
11160	外務省	16008	盲学校
11161	外国公館	16009	ろう学校
11170	財務省	16010	養護学校
11171	国税庁	18001	普通郵便局
11180	文部科学省	18002	特定郵便局（集配局）
11181	文化庁	18003	特定郵便局（無集配局）
11190	厚生労働省	18004	簡易郵便局
11191	社会保険庁	18005	地域区分局
11192	中央労働委員会		

学校分類：学校分類コード

学校の種類を特定するためのコード。

■ 定義域

「学校分類コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
16001	小学校
16002	中学校
16003	中等教育学校
16004	高等学校
16005	高等専門学校
16006	短期大学
16007	大学
16012	特別支援学校

名称：CharacterString

学校の正式名称。

■ 定義域

休校中の学校は、名称の末尾に“(休校中)”と記載する。

所在地：CharacterString

学校の市区町村名を省いた所在地。

管理者コード：管理者コード

学校の管理者を区分するためのコード。

■ 定義域

「管理者コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	国
2	都道府県
3	市区町村
4	民間
0	その他

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 /(B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	学校
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 ・ データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する資料（例：数値地図 25000（地名・公共施設）、便覧、総覧、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	学校
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。 次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率 (%) = (漏れのデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する資料（例：数値地図 25000（地名・公共施設）、便覧、総覧、またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって評価する。 一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。 ■空間スキーマプロファイルに関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 以下の場合エラーとする <ul style="list-style-type: none"> 空間属性及び時間属性が、適用範囲内に含まれない場合。 コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。 誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	学校
データ品質評価尺度	<p>データ集合の位置が、位置取得に用いた参照データ上の当該施設の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査対象のデータの位置が参照データの当該施設の範囲に含まれない場合。 <p>誤率 (%) = (位置のエラー数/参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>位置取得を行ったデータ集合に対し、全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、監督員が指定する資料（例：数値地図画像 25000，電子国土基本図，基盤地図情報等）とする。 ・ データ品質評価尺度に基づき，誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し，以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	位置正確度のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	学校
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データとの一対一の比較を行い，データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合，エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地物属性"行政区画コード"の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性"公共施設大分類コード"の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性"公共施設小分類コード"の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性"名称"の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性"所在地"の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性"管理者コード"の内容が正しくない場合。 <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数/検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは，原典資料または監督員が指定する資料（例：数値地図 25000（地名・公共施設），便覧，総覧，またはこれらを用い作成した資料等）とする。 ・ 地物属性の値が識別できるように，適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき，誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準を比較し，以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ “適合品質水準≥誤率”であれば“合格” ➢ “適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (学校) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

都道府県

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（学校）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名
施設					
	P29 学校				
	学校			School	School
	位置	GM_Point		position	position
	行政区域コード	行政コード		administrativeArea	administrative area
	公共施設大分類	公共施設大分類コード		PublicFacilityLargeClassification	public facility large classification
	公共施設小分類	公共施設小分類コード		PublicFacilitySmallClassification	public facility small classification
	学校分類	学校分類コード		type	type
	名称	CharacterString		name	name
	所在地	CharacterString		address	address
	管理者コード	公共施設管理者コード		administrativeCode	administrative code

→

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="4.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>学校</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/
gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="School" type="ksj:SchoolType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="SchoolType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>学校</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
```

```

<xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>位置</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="administrativeArea" type="gml:CodeType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>行政区域コード</xsd:documentation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="publicFacilityLargeClassification" type="gml:CodeType"
minOccurs="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>公共施設大分類</xsd:documentation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:defaultCodeSpace>PublicFacilityLargeClassificationCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="publicFacilitySmallClassification" type="gml:CodeType"
minOccurs="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>公共施設小分類</xsd:documentation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:defaultCodeSpace>PublicFacilitySmallClassificationCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="type" type="ksj:SchoolCodeType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>学校分類</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>

```



```

<xsd:element name="name" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>名称</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="address" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrativeCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管理者コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SchoolPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:School"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SchoolMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:School"/>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```

    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  </xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="SchoolCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>学校分類コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:SchoolCodeEnumType ksj:SchoolCodeOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="SchoolCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>学校分類コード</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:enumeration value="16001">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>小学校</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="16002">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>中学校</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="16003">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>中等教育学校</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```

```
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16004">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>高等学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16005">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>高等専門学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16006">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>短期大学</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16007">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>大学</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16012">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>特別支援学校</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
```

```
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="SchoolCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>この記述は、元資料にコードリストに規定した値以外の値が入っていた場合に、
これを許容するための例外措置です。</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>
```